

学校経営の基本理念

至誠をもって正対する

学校経営方針

学校経営目標達成のため、西紫原小学校の特色を生かした教育活動を推進する。

- ・学校組織の活性化，互いに協働し合う気持ち

- 1 全教育活動を通じて子供の自己肯定感を育てる。
- 2 よりよい教育活動をめざした外部評価，内部評価の実施
- 3 特別支援教育や就学支援の充実
- 4 組織の活性化と全校体制での課題解決
- 5 保護者との連携による信頼関係の構築
- 6 業務改善の視点に立った取組の推進

家庭・地域との協働

- ① P T A，おやじの会との連携・協力
- ② まちづくり協議会，社会福祉協議会，民生委員，児童委員，あいご会等との連携・協力
- ③ 通学保護員等との連携
- ④ 基本的な生活習慣の定着
・「家庭生活の共通実践事項」
- ⑤ 地域人材の活用
・学校支援ボランティア
- ⑥ 西紫原中との連携
- ⑦ 学校運営協議会，信頼される学校づくり委員会の充実

- 学校評価委員会
- 学校運営協議会
- 信頼される学校づくり推進委員会
- 働き方改革

調和的で創造性に富み，新しい時代にたくましく生きる個性豊かな西紫の子を育成する

- 諸法規・学習指導要領
- 鹿児島市教育振興基本計画

【校訓】

かしこく

目標をもち，よく考え，学習に励む

やさしく

素直で，礼儀正しく，友達と助け合う

たくましく

健康で，ねばり強く，意欲的ががんばる

〈目指す学校像〉

- 1 教児ともにあいさつを交わす明るい学校
- 2 人権尊重の精神を基盤に，子供一人一人を大切にする学校
- 3 教育環境が整備され，豊かな感性を育む学校
- 4 家庭・地域から信頼され，開かれた学校

〈目指す子供像〉

- 1 主体的・対話的に深く学ぶ子供
- 2 思いやりと感謝の気持ちを持ち，協力し合える子供
- 3 健康安全への意識を持ち，心身ともにたくましい子供

〈目指す教師像〉

- 1 職責感を持ち，信頼される教師
- 2 豊かな人間性と協調性を持ち，協働して課題解決に努める教師
- 3 指導力向上への意欲を持ち，絶えず学び続ける教師
- 4 子供一人一人を大切にし力を伸ばす教師

【確かな学力の定着を図る】

- 1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 2 諸検査結果の活用（分析・共通実践）

【心の教育の充実を図る】

- 1 いじめ・不登校・問題行動の早期発見と組織的な取組
- 2 あいさつの推進，言葉遣いの改善

【安全指導・健康教育・体力向上】

- 1 安全・健康への意識を高める取組（登下校中の事故0）
- 2 達成目標を掲げた体力向上への取組

特別支援教育

- ① 教育的ニーズに応じた合理的配慮
- ② 特別支援教育に対する理解の深化
- ③ 「チーム学校」としての校内支援システムの構築
- ④ インクルーシブ教育の観点からの指導
・個別の教育支援計画や指導計画に基づく指導
- ⑤ 校内委員会の充実（1学期からの家庭との連携）
- ⑥ 他機関との連携
・療育施設
・医療機関
・幼・保・中
・特別支援学校（巡回相談等）

- 1 自分の思いや考えを明確にもち，伝え合い学び合うことができる子供の育成
→自分の考えを表現し交流する場の設定
- 2 単元を見通した教材研究と授業構想
→目標と評価，教材の価値・分析
- 3 子供との質の高いやり取りを重視
→意図的な言葉掛け・称賛，発問
- 4 問題解決学習とドリル学習のバランス
→学習のめあてとまとめの整合性を意識した授業
- 5 タブレットの効果的・積極的な活用
→職員研修の充実
- 6 学習前や学習中の基本的事項の定着
→学習準備，声量，姿勢，話し方，音読等
- 7 家庭学習の習慣化
→手引の活用，目標時間の設定
- 8 外国語科・外国語活動の指導法の研修
→キャリア教育の観点からの指導
- 9 学校外研修・自主研究団体への積極的な参加

自ら考え進んで表現・タブレット端末の活用

- 1 担任と子供一人一人との温かい人間関係の構築による，自己肯定感の育成
 - 2 あいさつ運動の推進【1学校1改革】
→あさつの大切さの理解促進
 - 3 心の教育の日の工夫
→学級，学年，全校での取組
 - 4 問題行動への対応と教育相談の充実
→定期的なアンケートの実施
 - 5 生き生き生活推進委員会及び不登校対策委員会の活性化
→共通理解と解決策の検討
 - 6 豊かな心を育む読書の習慣化
→様々な読書指導法，「宝本」をもつ
 - 7 人権同和教育の充実
→優しい言葉遣い
 - 8 花育の伝統の継続
→子供たちの積極的な関わりと地域への苗の配布
 - 9 道徳科授業・特別活動の充実
→考え，議論する道徳の授業
→一人一人が活躍する場の工夫
- あいさつ（自分から）・やさしい言葉

- 1 検査結果や実態に基づいた指導
→資料等の活用，保健学習の充実
- 2 登下校の交通安全指導
→保護者・地域との連携
- 3 昼休みの遊び方指導
→校庭使用ルールの徹底
- 4 教室での過ごし方，廊下・階段歩きの指導
→全ての子供にその場で指導
- 5 感染症対策の徹底
→手洗いの励行，換気，予防教育
- 6 食物アレルギーへの確実な対応
→担任不在時や遠足，修学旅行，宿泊学習時における確実な対応
- 7 歯科検査後の家庭への治療促進に向けた啓発（治療率65%）
- 8 目標を設定したなわとび（一校一運動）や持久走の励行
→朝の時間，体育授業の初めの5分～10分の取組
- 9 情報モラル教育の推進
→授業での取組（講師招聘等）

安全な生活（登下校・昼休み）
なわとび（朝・体育）

[学習環境の整備・充実]

- ・緑化活動の充実（一人一鉢，地域への苗の配布）
- ・教児一体となった清掃活動
- ・作業用具・トイレのスリッパの後始末
- ・教室や校内掲示板の工夫
- ・節電，ゴミの分別等 I S Oへの取組

[職員研修の充実]

- ・校内研修テーマに沿った研修の推進
- ・授業をとおした実践的な研修（学年部等を通じた授業づくり）
- ・外部講師の招聘
- ・かごしま県教員等育成指標の趣旨に沿った研修

[開かれた学校づくり]

- ・諸便り，ブログ等を通じた情報発信
- ・授業参観や学級 P T A の計画的実施
- ・保護者との日常的なコミュニケーション
- ・児童の地域行事等への積極的な参加呼びかけ

非認知能力の涵養・育成

全教育活動の基盤となる人権意識・人権感覚

服務規律の遵守

心身ともに健康な職員

